

1 黒岡川沿い



○ 概況

- ・ 間隔は8mほどで狭い。
- ・ コケの付着が目立つ。
- ・ 車両の通行に支障がないように剪定されているが傷口の処置はされていない。
- ・ 河川沿いで、てんぐ巣病になりやすい環境であるが状態は悪くない。

2 産業高校前



○ 概況

- ・ 土壌環境がよくないため、低木である。
- ・ 補植が繰り返されており、間隔が狭い。
- ・ 電線に架かった枝が都度伐採されている。
- ・ 生育状況がよくないもの（幹だけになっているものなど）が放置されており、歩道への倒木の危険がある。

3 篠山総合スポーツセンター



○ 概況

- ・ 枝垂れ桜で状態がよい。
- ・ センター裏には寒桜もあり、名所として活用できる可能性を有する場所である。

4 宮田川沿い（高屋～黒田）



○ 概況

- ・ 支障枝が枝途中で切断されており、傷口の処置もされていない。
- ・ ツタが木全体を覆っているものがあり、木の成長や開花に支障が生じている。
- ・ てんぐ巣病が広がっている。

5 西紀大橋下



○ 概況

- ・ 風が強い場所であり、所々に倒木の株あとがある。
- ・ 植樹の際の支柱がそのまま放置されており、成長に支障が生じている。
- ・ 車両の通行が少なく、歩行者がゆっくりと観賞できる場所である。

6 有居桜回廊



○ 概況

- ・ 開花の時期には提灯で装飾されるなど、自治会で積極的に活用されている。
- ・ 桜の状態は比較的良好で、篠山川河川敷との接続性もよい。活用できる可能性は幅広い。

7 岩崎



○ 概況

- ・ 農道沿いの大木で隣接する圃場の日当たり等に影響するため、自治会が実施主体となり、桜守により剪定された。
- ・ 剪定で発生した伐採枝の処理にも労力を要する。

8 篠山城跡



○ 概況

- ・ 北西犬走りの桜は、老木化と日当たり不良のため状態が特に悪い。
- ・ 城跡は、市の所管部署が明確でなく、計画的な手入れや植樹・更新が実施されていない。

【全体を通じた特記事項】

- ・ 植樹後の手入れ（適切な剪定、施肥等）はほとんど実施されていない。
- ・ 車両の通行に支障となる枝などが都度伐採されているが、適切に傷口の処置がされているものは少ない。
- ・ 桜の生育に適した環境は、日当たり、風通し、水はけが良く、湿気の少ないところである。県の桜つつみ回廊事業によりソメイヨシノが多く植樹された河川堤防は、湿気が多く、てんぐ巣病に罹りやすい場所である。
- ・ 枝の伐採は、傷口が小さくなるよう早めの実施が望ましい。成長後の樹形を想像した早めの処置が推奨される。
- ・ ツタやコケが成長に支障を及ぼしている。